

介護の手

在宅生活を支える通所介護



介護が必要になっても、できるだけ自宅で暮らし続けたい—そんな思いを支えるのが「通所介護」です。今号では、その仕組みと、現場で支える介護職員の思いを紹介します。

地域包括ケア推進室 ☎ 66-1105

住み慣れた地域で いつまでも自分らしく

通所介護（デイサービス）は、介護が必要になっても、できるだけ自宅で自立した生活を続けられるよう、日常生活の世話や機能訓練を行うサービスです。利用者は事業所の送迎で施設に通い、入浴や食事、機能訓練などの支援を日帰りで受けられます。施設では、運動プログラムやレクリエーション、季節の行事などを通して、主体的に心身の維持を目指します。外出や人との関わりが増えることで、閉じこもりや孤立を防ぐ効果もあります。介護サービスの中でも、地域での暮らしを支える大切な役割を担っています。



利用者は？

対象は、主に65歳以上で要支援または要介護認定を受けた方、または地域包括支援センターや市窓口で行う基本チェックリストに該当した総合事業の対象者です。利用を希望する場合は、地域包括支援センターや担当のケアマネジャーにご相談ください。

通所介護の重要性

目的は、利用者の望む暮らしができるよう、利用者の心身機能を維持するとともに、家族の介護負担を軽減することです。「うまくお風呂に入られるか不安」「昼間だけ見守ってほしい」といった家庭の声に応え、在宅生活を続ける支えとなっています。通所介護は、介護を「家庭だけで抱え込まない」ための大切な仕組みといえます。